

ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト ー叡智の和ー
設定後の運用状況について

2015年7月23日

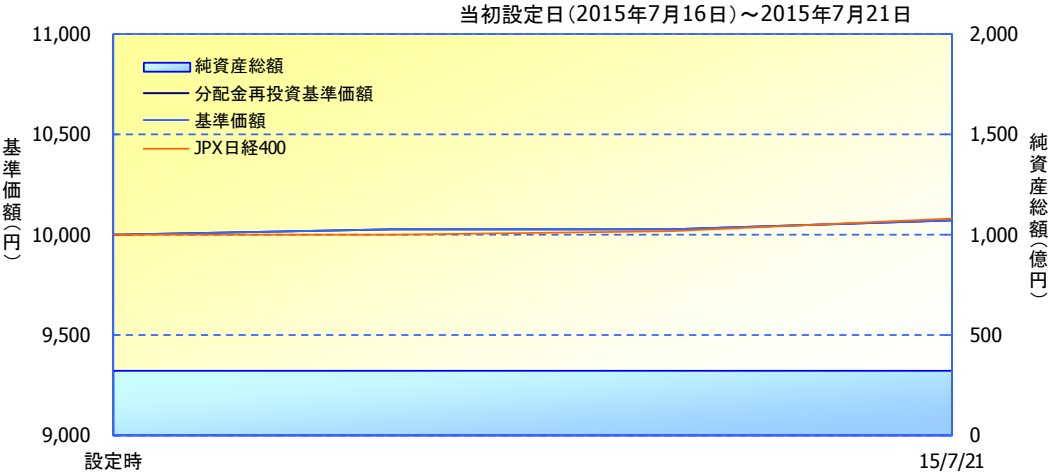
平素は、「ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト ー叡智の和ー」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

＜基準価額・純資産の推移＞ ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年7月21日現在

基準価額	10,063 円
純資産総額	318億円

期間別騰落率		
期間	ファンド	JPX日経400
1か月間	----	----
3か月間	----	----
6か月間	----	----
1年間	----	----
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	----	----
設定来	+0.6 %	+0.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※当ファンドはJPX日経インデックス400をベンチマークとしておりますが、ベンチマークを上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜主要な資産の状況＞ ※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			株式 業種別構成		合計94.6%
資産	銘柄数	比率	東証33業種名		比率
国内株式	93	94.6%	電気機器		11.6%
国内株式先物	1	1.9%	輸送用機器		9.5%
不動産投資信託等	---	---	情報・通信業		7.9%
コール・ローン、その他		5.4%	銀行業		7.1%
合計	94	---	化学		7.0%
株式 市場・上場別構成			医薬品		5.3%
一部(東証・名証)		94.6%	機械		5.2%
二部(東証・名証)		---	卸売業		5.1%
新興市場他		---	陸運業		4.0%
その他		---	その他		31.7%

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄		合計31.5%
銘柄名	東証33業種名	比率
KDDI	情報・通信業	3.6%
日本電信電話	情報・通信業	3.5%
みずほフィナンシャルG	銀行業	3.4%
日本たばこ産業	食料品	3.3%
アステラス製薬	医薬品	3.1%
東日本旅客鉄道	陸運業	3.1%
村田製作所	電気機器	3.1%
キーエンス	電気機器	2.8%
日産自動車	輸送用機器	2.8%
富士重工業	輸送用機器	2.7%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

<市場環境>

2015年7月16日の設定日から21日にかけての日本株式市場では、それまでの懸念材料であったギリシャ債務問題に関して、ギリシャ議会で財政改革法案が可決したことを受けて、ECB(欧州中央銀行)がギリシャに対するELA(緊急流動性支援)の枠を拡大したことや、大幅に下落していた中国株が反発に転じたこともあり、投資家の不安心理が後退しました。

<運用経過・戦略>

当ファンドは、優れた経営力などにより企業価値を創出し、効率的に収益を稼ぐと考えられるハイクオリティ企業を中心に投資しました。

銘柄選定にあたっては、アナリストによる定性分析、クオンツ・チームによる計量分析を重視し、運用担当者が株式市場の銘柄選好動向や企業の資本効率性の改善などの視点を組み合わせ、最適と考えられるポートフォリオを構築しました。結果として、7月21日時点で現物株式を95%程度組み入れております。

<市場見通しおよび今後の運用方針>

今後も、外的要因としてギリシャ問題の再燃や、中国の株式市場に対する先行き不透明感などから、リスク回避姿勢が強まる局面も想定されます。しかし、国内経済指標の改善傾向に加え、企業の株主還元や資本の効率的活用に対する意識はさらに高まるものと考えています。また、日銀や公的年金による日本株の買いは続くと期待されることから、中期的な株価上昇トレンドは継続すると想定しています。

当ファンドでは引き続き、ハイクオリティ企業と考えられる銘柄を中心に、アナリストによる定性分析、クオンツ・チームによる計量分析を重視しつつ、今後本格化する企業の4-6月期業績発表動向から資本効率性の改善を見極め、銘柄の入れ替えを行い、信託財産の成長を目指してまいります。

以上

ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト ― 叡智の和 ―

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- わが国の株式の中からハイクオリティ企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ハイクオリティ企業の株式に投資します。

◆ハイクオリティ企業とは・・・

優れた経営力等により企業価値を創出し、効率的に収益を稼ぐことで、株価を押し上げる力を有すると考えられる企業をさします。

◆運用にあたっては、企業調査アナリストによる定性分析、クオンツ・チームによる計量分析を活用し、ファンドマネージャーが株式市場での選好動向、資本効率性の改善等の視点を組み合わせることで、投資銘柄を選定します。

◆株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

◆中長期的にベンチマーク（JPX 日経インデックス 400）を上回る投資成果をめざします。

・JPX 日経インデックス 400 は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。

・当ファンドは、JPX 日経インデックス 400 を上回る投資成果を保証するものではありません。

「JPX 日経インデックス 400」は、株式会社日本取引所グループおよび株式会社東京証券取引所（以下総称して「JPX グループ」といいます。）ならびに株式会社日本経済新聞社（以下「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPX グループ」および「日経」は、「JPX 日経インデックス 400」自体および「JPX 日経インデックス 400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有します。本商品は、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPX グループ」および「日経」は、その運用および本商品の取引に関して、一切の責任を負いません。「JPX グループ」および「日経」は、「JPX 日経インデックス 400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト ― 叡智の和 ―

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.674% (税抜 1.55%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会